

令和5年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	きくがわ温泉華陽
所在地	下関市菊川町大字下岡枝字西所光508番地1
指定管理者	団体名称 一般財団法人 下関市公営施設公社
	代表者 理事長 濱本 笙子
	団体所在地 下関市唐戸町4番1号 カラトピア4階
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等により示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所市民生活課
	T E L : 0 8 3 - 2 8 7 - 4 0 0 6
	E - m a i l : kikenkou@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数 (単位：人)

	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
目標値	61,600	68,100	—	—	—	129,700
実績値	63,427	—	—	—	—	63,427
差	1,827	—	—	—	—	1,827

□指標：自主事業で開催するイベント等の開催回数及び参加者数

	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
目標値	4回 120人	4回 120人	—	—	—	8回 120人
実績値	4回 2,930人	—	—	—	—	4回 2,930人
差	0回 2,810人	—	—	—	—	0回 2,810人

本年度は、新型コロナウイルス感染症の収束により、利用者数が発生前の状況以上に回復傾向であり、目標値を上回っています。また、自主事業として、4講座の実施計画を立てていましたが、そのうち1講座については、定員の不足により講座の実施が出来なかったことが悔やまれます。ただし、参加者数は、目標値を大きく上回り、新規の利用者やリピーターの獲得に寄与したと思われます。今後も利用者へのサービスの質の向上、自主事業の内容の充実により利用者の増加に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

下関市きくがわ温泉華陽の設置目的は、市民の健康の保持及び増進に寄与するとともに、福祉の向上を図ることです。管理運営実施状況については、施設の維持管理及び業務が適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。利用者数は、上記に示すとおり目標値を上回ると同時に直近5年間の数値を超えた利用者数となっています。今後は、目標値を達成するため、さらなるサービスの向上・企画立案・広報宣伝による集客活動を求めます。収支は、物価高騰の煽りを受けましたが、概ね適正に行われていました。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務のさらなる向上・充実を図り、市民が安心して利用できるように環境作りを期待します。なお、クレームもないことから、指定管理者の努力により良好な水準を維持していると判断します。今後も良好な水準を維持することを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の安全・維持管理等、施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営されていました。施設運営や利用者への対応については、地域住民が公平・平等に利用できるよう努力されていました。施設の運用については、厳しい社会情勢の中、新型コロナウイルス感染症の発生前の利用者数に回復傾向となっています。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

運営業務は、特に問題はなく、適切に行われていました。また、自主事業の各種講座や販売事業等により、利用者へのサービス向上に努めていました。特に、各種講座は、毎年趣向を変え参加者の飽きの来ない企画を実施することにより利用促進に努めていました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理されていました。また、職員の資質の向上を目的に研修を実施するなど、施設運営の向上に努めていました。利用者から出た意見・要望等については、迅速かつ前向きに捉え、検討し、今後の改善に役立てていました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

経理関係書類の整理や監査の実施により適正に処理されています。光熱水料費及び燃料費の高騰により経費不足が危惧されていましたが、省エネ意識を持ち適切に対応していました。また、毎月作成する業務報告についても整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、感染症防止対策等の実施や軽微な補修等を迅速に対応し、利用者に寄り添った適正な対応がなされています。また、施設の不具合が生じた場合や緊急事態（事故等）が発生した場合は、応急的処置を講じ、随時、市へ報告が行われ適切な対応が取られています。

社会性(環境等への配慮)

光熱水費及び燃料費について、前年度より経費を抑制し、省エネ意識を持ちながら環境への配慮に取り組み、利用者の利便性を損なわず運営をしていました。

事業収支

経済性

物価高騰の煽りを受け、厳しい経営状況でありましたが、国の特別交付税処置により補填をおこなったことにより、概ね計画の範囲内において適切に執行していました。

団体の経営状態

経営の健全性

団体の経営については、提出された財務諸表等を分析した結果、物価高騰の影響による燃料費、光熱費の支出に影響はあるものの、財務状況については特に大きな問題はないと判断しました。

令和6年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	きくがわ温泉華陽
所在地	下関市菊川町大字下岡枝字西所光508番地1
指定管理者	団体名称 一般財団法人 下関市公営施設公社
	代表者 理事長 大崎 信一
	団体所在地 下関市唐戸町4番1号 カラトピア4階
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所市民生活課
	T E L : 0 8 3 - 2 8 7 - 4 0 0 6
	E - m a i l : kikenkou@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数 (単位：人)

	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
目標値	61,600	68,100	—	—	—	129,700
実績値	63,427	48,742	—	—	—	112,169
差	1,827	△ 19,358	—	—	—	△ 17,531

□指標：自主事業で開催するイベント等の開催回数及び参加者数

	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	合計
目標値	4回 120人	4回 120人	—	—	—	8回 240人
実績値	4回 2,930人	1回 9人	—	—	—	5回 2,939人
差	0回 2,810人	△ 3回 △ 111人	—	—	—	△ 3回 2,699人

温泉設備の改修等による休館のため利用者数は目標値を下回りましたが、1日当たりの利用者数は昨年度とほぼ変わりませんでした。また自主事業についても、本年度は休館に伴い夏休み小学生対象教室の開催だけとなりました。営業再開時期については未定ですが、再開した際には利用者へのサービスの質の向上、自主事業の内容の充実により利用者の増加に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

下関市きくがわ温泉華陽の設置目的は、市民の健康の保持及び増進に寄与するとともに福祉の向上を図ることです。管理運営実施状況は、施設の維持管理及び業務が適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。利用者数は温泉設備の改修等による休館のため昨年度を下回りましたが、1日当たりの利用者数は令和5年度208.6人に対して令和6年度は209.2人と同程度を維持しました。営業再開時には目標値を達成するため、サービスの向上・企画立案・広報宣伝による集客活動を求めます。収支は、物価高騰の煽りを受けましたが、概ね適正に行われていました。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

現在温泉設備の改修で休業中ですが、営業再開時には本施設の設置目的を達成するため、業務のさらなる向上・充実を図り、市民が安心して利用できるような環境作りを期待します。なお昨年度もクレームもなかったことから、指定管理者の努力により良好な水準を維持していると判断します。今後も良好な水準を維持することを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の安全・維持管理等、施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営されていました。施設運営や利用者への対応については、地域住民等が公平・平等に利用できるよう努力されていました。施設の運用については、休館により全体の利用者は減ったものの、1日当たりの利用者数は前年度と同程度を維持していました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)

運営業務は、特に問題はなく適切に行われていました。また、自主事業や販売事業等により、利用者へのサービス向上に努めていました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理されていました。また、職員の資質の向上を目的に研修を実施するなど、施設運営の向上に努めていました。利用者から出た意見・要望等については、迅速かつ前向きに捉え、検討し、今後の改善に役立てていました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

経理関係書類の整理や監査の実施により適正に処理されています。光熱水料費及び燃料費の高騰により経費不足が危惧されていましたが、省エネ意識を持ち適切に対応していました。また、毎月作成する業務報告についても整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、軽微な補修等を迅速に対応し、利用者に寄り添った適正な対応がなされています。また、施設の不具合が生じた場合や緊急事態(事故等)が発生した場合は、応急的処置を講じ、随時、市へ報告が行われ適切な対応が取られています。

社会性(環境等への配慮)

光熱水費及び燃料費について、省エネ意識を持ちながら環境への配慮に取り組み、利用者の利便性を損なわず運営をしていました。

事業収支

経済性

温泉設備の改修等による休館があり、厳しい経営状況でありましたが、休館に対する減収を補填する指定管理料の増額により、事業を適切に継続することができました。

団体の経営状態

経営の健全性

団体の経営については、提出された財務諸表等を分析した結果、物価高騰の影響による燃料費、光熱費等の支出増加の影響はあるものの、財務状況については特に大きな問題はないと判断しました。